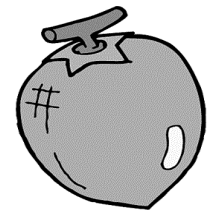


柿栽培技術情報（8月の管理）



令和7年7月31日

宮城県大河原農業改良普及センター

《8月のポイント》

熱中症対策を行い作業に臨みましょう。
炭そ病の防除を徹底しましょう

1 気象情報

7月の気温は平年より平均3.6℃高く推移しました。

降水量は平年より平均100mm程度少なく推移しました。

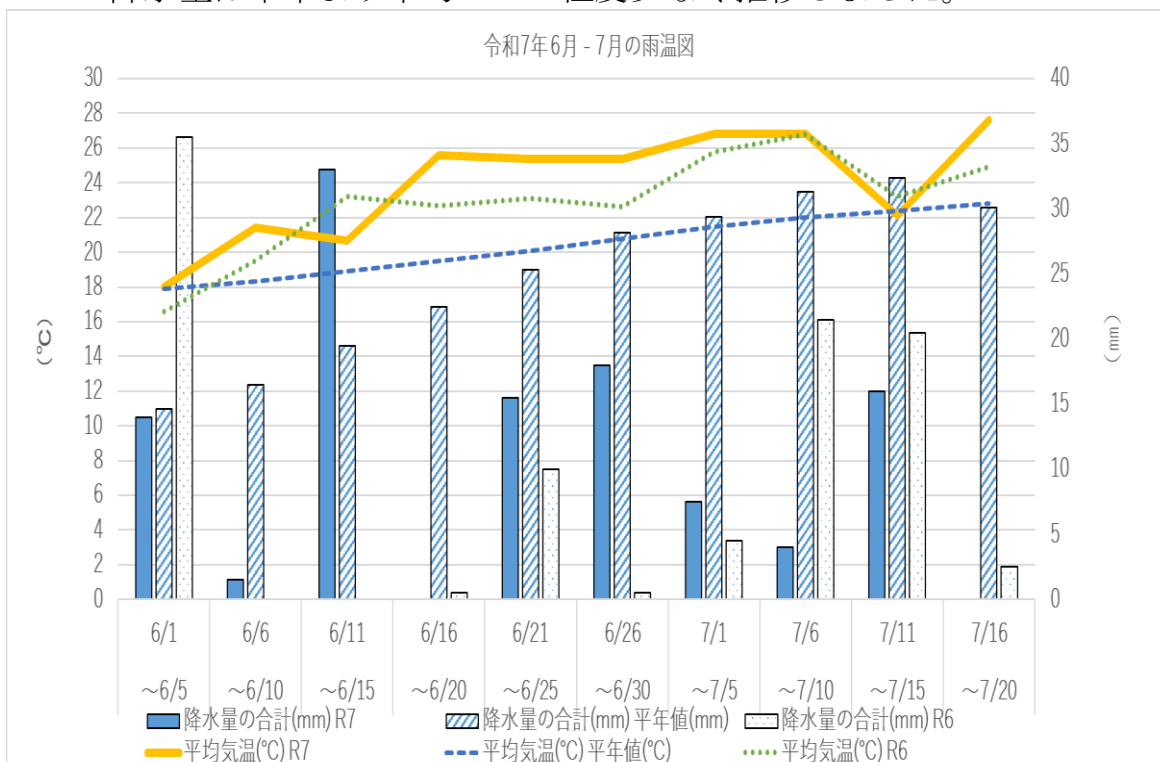


図1 アメダス丸森地点の半旬別合計降水量及び気温の経過
(棒グラフ：半旬ごとの降水量の合計、折れ線グラフ：平均気温)

2 果樹カメムシ類について

令和7年も全国的にカメムシ類の発生が目立っています。山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にあります。発生が多い場合は、防除を行いましょう。

3 8月の管理作業

(1) 枝つり、支柱立て

支柱立て、枝吊りを実施しましょう。樹冠内部の受光条件の改善、枝折れ防止及び防除効果の向上につながります

(2) 夏季せん定

大きな切り口や樹冠内に発生する徒長枝を切除しましょう。防除効果の向上につながります

4 病害虫の防除（果樹カメムシ類を除く）

(1) 炭そ病

- ・発病した枝や果実は、除去し、園地外で処分します。
- ・重点防除時期は6月上旬～7月中旬、8月下旬～9月中下旬です。

(2) カキノヘタムシガ

ヘタの中心や横に穴を空けて果実内部を食害する害虫です。成虫（1cm程度の黒っぽい蛾）発生期の1週間後（果実食入前の幼虫をターゲット）に防除しましょう。



カキノヘタムシガの成虫

5 気象災害に係る技術対策

(1) 高温乾燥対策

- ・刈り草のマルチ等で土壤乾燥を防ぎ、樹勢が低下しないようにします。
- ・7日程度無降雨状態が続いた場合、20mm（20 t /10a）程度を目安にかん水を行います

6 今後1か月の気象予報

**気温の高い日が続く予報です。
熱中症にならないよう、こまめな水分補給と休憩をとりましょう。**

東北地方 1か月予報 (08/02～09/01)		
2025年07月31日14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	向こう1か月は気温の高い状態が続くでしょう。特に、期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 08/02～09/01	天候	東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	平均気温は、東北日本海側で高い確率60%、東北太平洋側で高い確率70%です。
	降水量	降水量は、東北日本海側で平年並または高い確率ともに40%です。
1週目 08/02～08/08	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 08/09～08/15	気温	2週目は、東北日本海側で平年並または高い確率ともに40%、東北太平洋側で高い確率50%です。
3～4週目 08/16～08/29	気温	3～4週目は、高い確率60%です。